

Abstract

To forecast strong turbulence which gives a serious influence to aircraft, a couple of indices, TSI and TPI, calculated from the vector product of wind vector which reflects the difference of wind direction are proposed to estimate the potential of turbulence occurrence. TSI is related to the thermal advection, and TPI is an index in consideration of the curvature of flow. Verification indicates that these indices have higher accuracy than the conventional ones at the high probability of detection (60-90%), and that these indices are more effective than TII (the product of horizontal deformation and vertical wind shear) for the turbulence that a forecast was insufficient in VS (vertical wind shear). Therefore, both when separate and when combined with VS, TSI and TPI are more effective than the conventional ones. These indices improve the accuracy of turbulence forecast.

IUGG 総会開催が間近になりました

(1) 準備は順調です

来る6月30日を初日として7月11日までの2週間、札幌にてIUGG総会が開催されます。5月半ばの状況では、参加登録者数は約3000人です。国内からと海外とからではおおよそ1:1、一般と若手(学生等)とでは、おおよそ2:1の割合になります。参加者数を5000人と見込んで計画が立てられていますので、まだその線には達していないこととなります。SARS問題が懸念されますが、大きな影響はないでしょう。

IUGG傘下の協会ごとで参加状況を見ると、IAGA、

IASPEI, IAMAS(気象・大気科学)の3協会が上位で、人数は550~600人。他の協会では250~300人です。

少しの例外を除き、プログラムは確定しています。IUGGホームページで、関係セッションなど見ることができます。個々の研究発表の時間などについても、本稿が印刷になるころには電子情報として確認することができますと思いますが、個々には責任者などから発表者に連絡される筈ですので、発表予定者で疑問がある場合はコンビーナにお問い合わせ下さい。

(2) 寄付のご協力、ありがとうございます

4月末日までにIUGG総会のために募金委員会に寄せられました寄付金(個人および企業)は、全学協会の合計で約2,400万円です。6,000万円を予算に立ててありますので、まだまだ不足しています。日本気象学会単独では、5月半ば時点までの総計が約84万円です。会員の各位のご協力を重ねてお願い致します。天気2月号をご覧頂ければ幸いです。

なお、日本気象学会宛に、先月号に報告した以後で5月19日までに寄付を頂いた会員は右の通りです(入金順)。

対象1(登録料私費か不参加の場合:一口1千円で

2口以上)

大西晴夫, 勝山 税, 浅井富雄, 丸山健人,
内野 修, 野村佳男, 宮崎保彦, 石島 英,
佐伯理郎, 岩嶋樹也, 財前祐二, 須田卓夫,
小宮 学(以上13名,
小計12万3千円)

対象2(登録料公費の場合:一口1万円で2口以上)

徐 健青, 栗原和夫, 松本 淳, 新野 宏,
(以上4名,
小計18万円)

上合計30万3千円。累計83万5千円。